

函館山の麓、西部地区がまちづくりを考える

はこまち通信 クーポラ

2020.10

vol. **54**

新たな視点でまちづくりに取り組む

Mission2

移住者支援 (詳細は次ページ)



Photo)8/5対談より

大矢センター長代理・箱館不動産代表 蒲生 寛之さん・はこだて暮らしコンシェルジュ 谷口

Contents

特集 **新たな視点でまちづくりに取り組む** ...P2

市民活動団体のご紹介

NPO法人 **スプリングボードユニティ21**

まちセンとSDGs

...P5

クーポラ便り／配布先・問い合わせ先

...P6

INFO & TOPICS

...P7

センター長 丸藤の『**今伝えたいこと**』

...P8



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

- まちづくりセンターで行われている講座案内や市民活動団体などの詳細は、ブログやホームページで公開中です。
- まちづくり、市民活動、各種助成金、移住・定住に関する問い合わせなど、お気軽にご相談ください。

発行／函館市地域交流まちづくりセンター

<http://hakomachi.com>



Mission2 移住者支援

地域の課題を解決するため、まちづくりセンターは2007年のオープン以来、5つのミッションを掲げて活動してきました。なかでも移動したり、他の地域の方と接する機会がある『移住者支援』については早急に『新たな視点』が必要です。『移住サポートセンター』Webページへのアクセス数は増加しており、移住情報を発信するメールマガジン(以下『メルマガ』)への登録者数は460人と過去最高になりました。(※8月31日現在)

2013年に地元、函館にUターンした『箱バル不動産』代表、蒲生寛之さんも、移住相談に力を入れるおひとりです。「暮らしを見つける宿」がコンセプトの宿泊施設『SMALL TOWN HOSTEL(スモール タウン ホステル 以下ホステル)』では「函館で暮らす楽しさ」を発信したり、2019年10月には移住検討者セミナー(東京・有楽町)のゲストとして登壇。集まった関東圏の移住検討者に向けて、自身のUターン体験を熱っぽく語りました。

オンラインツールやSNSを活用し「自粛中もめっちゃめっちゃ忙しかったです」と振り返る蒲生さん。『新たな視点』での支援について、大矢センター長代理、はこだて暮らしコンシェルジュ谷口がお話をお聞きしました。(2020.8.5)



——外出自粛期間中、蒲生さんの活動にはどんな影響や変化がありましたか?(谷口)



■蒲生さん

5月からホステルで『オンライン宿泊』をはじめました。僕も最初に聞いたときは正直、疑問に思いましたが、この取り組みをスタートしたゲストハウス(和歌山県)の『オンライン宿泊』を実際に体験してみたところ、とても有意義な時間を過ごせたんです。

『オンライン宿泊』のメリットは『非対面』で人と会話ができることです。感染のリスクもおさえられるうえ、移動の時間がかからない点もいいなと思います。SNSで告知したところ、若い方に限らず、50代など幅広い年代の方が参加してくれました。

■谷口

オンライン宿泊ですか!蒲生さんはいつも新しいことに取り組んでい

るイメージがあります。ほかにもありますか?

■蒲生さん

「函館で暮らす楽しさ」を伝えたくて、ホステルのプロモーションビデオを制作しました。撮影は昨秋でしたが公開のタイミングがこの時期に重なってしまいました。公開したときは反響が大きかったです。

■大矢

自粛中もオンライン配信(Zoom)やSNSを活用されていたんですね。私たちも臨時休館中は電話相談やメルマガで問合せに対応してきました。函館の良さ、暮らしの楽しさを多くの方に知ってもらう。これは私たち函館市民にも言えることですよね。



——移住検討者に向けて、今後はどのような支援が必要になってくると思いますか?(谷口)

■蒲生さん

この自粛中に函館に移住した方がいらっやいます。昨年10月のセミ

ナー参加者です。もともと『二拠点生活(お住まいの地と函館とを行ったり来たり)』を考えていた方なんですけど、リモートワークを機に「函館に移住してもいいか」と職場に相談してOKが出たそうです。

以前は函館に移住したくてもできなかった人たちが、今後は「仕事を続けながら函館に住めるのでは?」と、真剣に検討しているのではないかと思います。相談者は僕と同世代、30代前半から40代前半の方が多く、函館移住と同時に起業の準備をすすめているご夫婦もいますよ。函館って、ネームバリューはあると思います。ですが去年と今年でツーリズムそのものが大きく変化していますので、これからは従来の切り口だけではなく『危機感』を持ちながら、若い世代に向けて情報を発信していかなければと感じます。

■大矢

リモートワークがきっかけで移住された方がいらっやるんですね!若い世代に情報を発信するために、わたしたちもSNSを活用していかなければと思います。



今回のゲスト



がもう
蒲生 寛之さん
ひろゆき

函館市出身 合同会社箱バル不動産代表
株式会社蒲生商事 宅建主任
宅地建物取引士、賃貸不動産経営管理士、古民家鑑定士1級
NPO法人はこだて街なかプロジェクト メンバー

■ 課題解決に向けての新たな視点

- オンラインを活用した『顔が見える』移住相談
→ 安心して相談できる環境づくり
- SNSの強みをいかして、このまちで暮らす人の魅力を伝える
→ 何より自分たちが楽しく暮らす

函館市の移住支援体制

函館の行政・民間・NPO・北海道（札幌）・東京とも連携を取りながら皆さんをサポート！
お気軽にご相談下さい。



函館しごとネット

函館市経済部雇用労政課
山村さん
函館市東雲町4-13
☎0138-21-3309
(平日8:45~17:30)



北海道しごとガイド
(仕事探し)

ハローワーク
(仕事探し)

東京(有楽町)移住相談窓口

認定NPO法人 ふるさと回帰支援センター
どさんこ交流テラス 大貫さん
東京都千代田区有楽町2丁目10-1
東京交通会館8階
090-1541-0011
☎03-6273-4401(代表)
月曜祝日休(10:00~18:00)



子ども未来部
(子育て支援)

函館市窓口

移住ナビ facebook ページでの情報発信など
函館市企画部企画管理課
西川さん
函館市東雲町4-13
☎0138-21-3621
(平日8:45~17:30)



移住サポートセンター

函館市末広町4-19
☎0138-22-9700
(9:00~21:00)

はこだて暮らし
はこだて暮らしコンシェルジュ 谷口
兵庫県出身。
厚沢部町地域おこし協力隊OB
道民歴は10年。防災士。



古民家・リノベーション

合同会社箱バル不動産
代表 蒲生さん

函館市末広町18-25
(SMALL TOWN HOSTEL HAKODATE内)
☎0138-83-8742
(平日9:30~17:00)



ちょっと暮らし
提携する宿泊施設等
(函館市企画部)

各町内会

函館の起業支援

函館市産業支援センター
起業相談担当 進藤さん
函館市桔梗町379-32
函館テクノパーク内
☎0138-34-2561
(平日9:00~17:00)



北海道経済部
(起業支援)

ワーケーションin 函館

函館市経済部工業振興課
企業立地担当 小川さん
函館市東雲町4-13
☎0138-21-3307
(平日8:45~17:30)



銀行・公庫
(起業融資)

空き家対策

NPO法人はこだて街なかプロジェクト
理事長 山内さん

[E-mail] info@h-machi.com
☎0138-55-8138
(株式会社建築企画山内事務所内)
第1・第3土曜10:00~15:00は
無料相談実施(要事前予約)
会場:函館市地域交流まちづくりセンター



移住アンケートへのご協力
ありがとうございました

『移住を検討中の方』『すでに函館に移住された方』
2つのアンケートを実施しました。(期間:7月28日～8月21日)

Q

移住を検討中の方へ
「現在の住まいを教えてください」

約半数が関東・甲信越地方という結果でした。
アンケートの全ての結果は
移住サポートセンターのブログで公開中です。

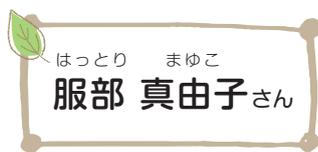
詳細はこちら▶



移住者の
声

移住サポートセンターでは不定期で『移住者の体験談』をご紹介します。
今回は、二拠点生活(お住まいの地と函館とを行ったり来たり)を送っている方から
『移住のきっかけ』『函館の印象』『利用した制度』などについてお話をお聞きしました。

函館⇄神奈川
…二拠点生活の日々



はっとり まゆこ
服部 真由子さん

キーワード 子供の進学(2015年) → 起業 二拠点生活(2019年4月～)
前居住地 神奈川県
お仕事 自営(BAR Suginamiオーナー)

BAR Suginami◆函館市本町29-23 オールドスタイルホテル函館五稜郭1F 電話 0138-84-8873



子どもたちの中学進学がきっかけで函館へ

函館とのつながりは2015年、長男が函館の中学校へ進学、寮生活をはじめたのがきっかけです。学校見学で函館を訪れた日は猛吹雪で、「絶対住みたくない!」と言われるかも…と思いきや、初めて見る大雪に長男は大はしゃぎ!とんとん拍子に函館での学校生活がスタートしました。

私も、年に数回の学校行事に参加するため神奈川⇄函館を往復するうち、自然が豊かで歴史がある函館に魅力を感じるようになりました。函館で見つけた「お気に入りの店」で友人もできました。昨年4月には、長女も函館の中学校へ進学することになったので、私も函館で暮らすことに。長年勤めていた仕事を辞めて、神奈川⇄函館のデュアルライフ(二拠点生活)をはじめました。

この1年数ヶ月、たくさんの方から「手伝うことはない?困っていることはない?」と声をかけていただきました。困ったこともありましたが、移住者の集い『まちセン茶論(サロン)』に参加して、移住の先輩方の体験談が聞けたり、相談にのってもらったので、大変助かりました。今では、お店のお客さまから「服部さんは、昔から函館に住んでいる自分より友達が多いね。」と言われるくらい、多くの方に助けていただき感謝しています。

函館は、 都心との距離も環境もちょうどいいまち

函館には海があり山もありながら、適度な都会でもあり、都心から移住するのにちょうどよいまちだと思います。東京では、通勤で往復2時間を超える時間を奪われ、満員電車で辟易するストレスフルな日常。このコロナ禍において、更にリモートワークのシステムが整えば、首都圏からの地方移住も増えるのではないかと感じます。函館は、まちの中心部と空港が近く、東京への移動も先の通勤時間とさほど変わりありません。場所にとらわれない働き方を検討している方にとって、函館は、距離的にも環境的にもぴったりだと思います。

『二拠点生活』でじっくり検討を

とはいえ、急に見知らぬ土地に移住するというのは、とても勇気がいることだと思います。そんな方には私のように『ここを終の棲家にするかどうか』をじっくり検討できる『二拠点生活』をおすすめします。興味をお持ちの方はぜひ一度、私のお店にいらしてください(笑)。『二拠点生活』を実践する方が増えて、行政のサポートや税収システム等が整えば、『新しい生活スタイル』が生まれ、地方経済の活性化にも繋がるのではないのでしょうか。

※誌面では抜粋して掲載しております。服部さんの「移住者の声」はクーポラHPどうぞ▶



Hakodate Community



Design Center vol.54 2020年10月

スタッフより一言/移住サポートセンターの問合せ先・QRコード入りオリジナルカードを配布中です(櫻田)



市民活動団体のご紹介

会員募集中！
共に活動してみたい方は
気軽に各団体に
お問い合わせください。



～ 高い志と思いやり ～ NPO法人スプリングボードユニティ21



一人ひとり力を合わせて温かい人間関係を育むことで、自ら考え努力し、乗り越えていこうというフリーでフレキシブルな運営のもとに、様々な分野で人と人の心が通じ合うまちづくりのための事業を行うことを目的としています。

特に、花と緑の豊かな地域づくりに関わる事業では『国道5号函館新道』『道道函館空港線』『函館駅前花壇』の3か所で、それぞれの地域の皆さんと協力しながら美しい景観づくりを意識し、おもてなしの気持ちを込めて活動しています。函館新道の活動では、撤去した花から堆肥をつくり、翌年の花壇の土づくりに。環境への配慮もわたしたちの活動のひとつです。



新型コロナウイルス感染症対策でマスクをして、距離をとって花壇の作業にあたりました。(2020年5月)

春～秋のボランティアに参加希望の方は、保険の手続きがありますので事前にお電話をお願いします。1～2月は『シーニックdeナイト』で使用する「ワックスキャンドル」製作や設置のボランティアを募集します。

●NPO法人スプリングボードユニティ21
理事長／折谷 久美子
設立／1999年(2004年NPO法人格取得)
会員数／20名 年会費／一口1,000円(何口でも可)
住所／〒041-0811 函館市富岡町1丁目5-11
電話／0138-45-7576 FAX／0138-45-7701
Mail／info@springboard.jp
HP／<https://www.springboard.jp/>

団体設立のきっかけや活動内容などの詳細はまちセンHPで
<http://hakomachi.com>



11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	17 パートナースhipで 目標を達成しよう

まちセンとSDGs



『市民活動×SDGs』発行します

函館道南で活動するNPO・市民活動団体を紹介する冊子の発行に向けて準備中です。活動内容が伝わるよう、各団体のSDGsのロゴを入れてご紹介します。

冊子は、団体を支援(協賛)したい方や、ボランティアで参加したい方にも役立ててもらえる内容を予定しております。発行の際はブログでご案内します。

引き続きまちづくりセンターはSDGsの啓発活動に力を入れてまいります。

- 『市民活動ポスター展』を開催。
詳細はこちら▶
- センター内のSDGs掲示ポスターや資料を一部更新
- まちづくりセンター共催 『SDGsカードゲーム』開催(8月)
- 函館蔦屋書店SDGsイベント参加(9月)



クーポン
便利

手動式エレベーターを「条件付き」で ご案内しています

まちづくりセンターの人気スポットといえば、昭和9年設置の手動式エレベーターです。スタッフの操作で搭乗できます。ご希望のかたは、1階インフォメーションまでお声がけください。

人数
2名まで



感染症対策に
ご協力を
お願いします。



人数は2名様までとなっております。

場合によっては少々お待ちいただくこともありますことをご了承ください。団体でご利用の際は、事前にお電話にてご相談いただくとスムーズです。

詳細はこちら▶



『はこまち通信クーポン』の【クーポン】とは？

教会などの屋根上部に取り付けられた、半球系の構造物を指します。

1923年に建てられた旧丸井今井呉服店函館支店をリノベーションし、2007年にオープンした函館市地域交流まちづくりセンター。その外観を印象づける『クーポン』を広報誌でも使用しております。



配布先・問い合わせ先

『はこまち通信クーポン』2020年10月 vol.54
次号は1月4日発行予定です（年4回）

発行／函館市地域交流まちづくりセンター
住所／〒040-0053 北海道函館市末広町4-19
TEL／0138-22-9700
FAX／0138-22-9800
開館／9:00～21:00
休館日／12月31日～1月3日

<http://hakomachi.com>



このほか器材点検のため月1回程度、
臨時休館する場合があります。
詳しくはセンター内やWebで
お知らせしています。

建物裏手に駐車場あり。
2時間まで無料。

指定管理者／
NPOサポートはこだてグループ
(2007年4月～)



『はこまち通信クーポン』編集室だより

それぞれの活動には目的やミッションがあり、現在のコロナ禍では、今までのやり方や手段が見直されています。やり方や手段をより進化させる方法をこれからも探っていき、みなさまにお伝えします。
(編集長／谷口 真貴)

●主な配布先(敬称略)

函館市役所1F／亀田支所／湯川支所／銭亀沢支所／戸井支所／恵山支所／椴法華支所／南茅部支所／函館市中央図書館／渡島総合振興局／函館市企業局アクロス十字街／総合保健センター／函館市民会館／函館アリーナ／函館市女性センター／函館市青年センター／函館市公民館／函館コミュニティプラザGスクエア／函館市青少年研修センターふるる函館／中島れんばいふれあいセンター／函館市総合福祉センターあいよる21／函館市勤労者総合福祉センターサン・リフレ函館／亀田交流プラザ／どさんこ交流テラス(東京 有楽町)
取材に協力くださったみなさま、施設等

『はこまち通信クーポン』に関するご意見、ご感想をお寄せください。お名前、ご住所、お電話番号を明記の上、メール info@hakomachi.com まで



Hakodate Community



Design Center vol.54 2020年10月

スタッフより一言／秋は『助成金』申請のピークです。来年度の活動や事業に向けて、ご相談に応じています(榎本)

再開しました まちセン茶論

市民と移住者との集い『まちセン茶論(サロン)』を再開しました。10:30~11:30(午前の部)と13:30~14:30(午後の部)どちらかを選んでください。参加費無料、事前申込み制、定員各5名です。

まずはお気軽にお電話にてお問い合わせください。

はこだて暮らしコンシェルジュ 谷口がご相談に応じます。

【今後の予定】 10月13日(火)
11月10日(火)
12月 8日(火)

9月8日(火)7か月ぶりに再開しました▶



開催中止 まちセンクリスマスコンサート2020

熟慮の末、今年は中止とさせていただきます。楽しみにされていた方には心よりお詫び申し上げます。



2020年は中止
2019まちセンクリスマスコンサートの様子

水曜マルシェ 開催未定

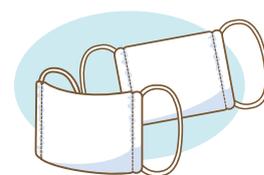
地域のみなさま、出店されるみなさまの安全を第一に考え、9月末現在も開催を見合わせております。何とぞご了承ください。



再開未定:
ハンドメイドでつながる
水曜マルシェ

善意のマスクをお渡ししました

マスク回収箱をセンター内に設置しましたところ、1,862枚のマスクが寄せられ、函館市や必要としている市民活動団体のみなさんにお渡ししました。



マスク贈呈の様子、
内訳、団体など
詳細はこちら▶



終了 リングプル・古切手回収 終了のお知らせ

6月30日にて回収事業を終了しました。これまでのご協力、ありがとうございました。



詳細はこちら▶

講座・教室のご案内

まちづくりセンターで行われる講座や教室をHPに掲載しております。興味をお持ちの方は講師の連絡先までお問い合わせください。



掲載ページ「講座一覧」はこちら▶

各種お問い合わせ: 函館市地域交流まちづくりセンター ☎0138-22-9700





センター長 丸藤の「今 伝えたいこと」

コロナ禍で、多くのイベントや市民活動も休止に追い込まれました。“社会参加することが、自分や地域を元気にする最も効果的な方法”と言い続けてきた身にとって、とても辛い気持ちです。

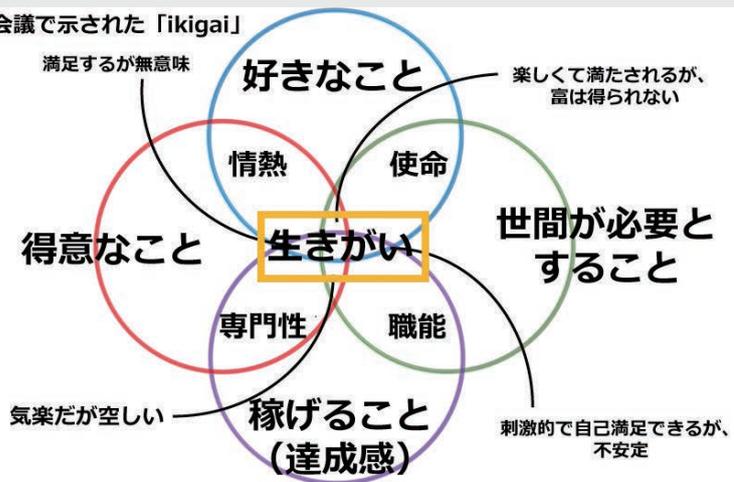
2017年スイスのダボスで開催された世界経済フォーラムで、「生きがい」についての概念が示されました。それによると、「好きなこと」「得意なこと」を「世間が必要とすること」に活かし、そのことで「稼ぐことができる」と生きがいに結びつくとされています。「達成感を感じ続けようとする意欲の中にこそ、生きがいがある」ということです。

今は、人と会うことや活動の仕方にも配慮が求められていますが、好きなことや得意なことを持っている方は沢山います。一方で、何かを必要としている人は増え続けているので、それらを結びつけていくことが必要です。特に元気な高齢者が持っている力を必要としている場面は、地域にたくさんあります。やり方は変わっても、人の力の必要性は変わりません。

「生きがいづくり」を通して自分も地域も元気にする。コロナ禍だからこそ、必要だと思えます。



世界経済会議で示された「ikigai」



1F 喫茶コーナー cafe DripDrop

- 営業時間/10:00~16:00 (変更の場合あり)
- 定休日/水曜日・施設休館日
- 自家焙煎、ハンドドリップのコーヒーで一息つきませんか?

営業時間など最新情報はお店のSNSをご覧ください▶



☞【オススメ】チャイ 500円

しょうが+スパイスであたたまります

1F 福祉の店 どんぐり 2号店

- 営業時間/10:00~15:00 ●定休日/土日祝日・施設休館日
- 授産製品を扱っています。函館みやげにオススメのクッキーをはじめ、布バッグや布ぞうりなどのハンドメイド雑貨も豊富です。

☞【オススメ】土偶クッキー 800円(2枚×6袋入 税込)

[喫茶・ショップお問合せ先]

電話 0138-22-9700 函館市地域交流まちづくりセンター

